

## 令和7年度第1回一関市学校給食センター運営委員会 会議録

- 1 開催日時 令和7年7月14日（月）午後3時から午後4時30分まで
- 2 開催場所 一関保健センター 多目的ホール
- 3 出席者
  - (1) 委員 佐藤拓史委員（委員長）、佐藤律子委員（副委員長）、  
青沼徹委員、亀谷琢委員、中村美佐委員、松田薫委員、  
山戸貴義委員、佐藤翼委員、山崎郁枝委員、中舘千里委員、  
菊池亮委員、佐藤ひかる委員、小野寺秀宣委員、三上貴史委員、  
小野寺嘉奈委員
  - ※欠席者 佐々木貴浩委員
  - (2) 事務局 時枝直樹教育長、千葉せつ子教育次長、千葉邦雄教育総務課長、  
八木浩司副参事兼学校教育課長、  
佐藤孝之西部学校給食センター所長、  
黒川俊之西部第二学校給食センター所長、  
梁田潤真滝学校給食センター所長、  
猪股浩子花泉学校給食センター所長、  
菅原正幸大東学校給食センター所長、  
橋本雅郎千厩学校給食センター所長、  
金野幸学校教育課長補佐兼保健係長、  
木村幸子学校教育課長補佐兼栄養主任主査、  
吉田傑学校教育課主事

### 4 議 題

- (1) 一関市学校給食センターの運営について
- (2) 食育の状況について
- (3) 学校給食費の納付方法及び納付期限等について
- (4) 学校給食費の収納状況及び収納対策について
- (5) その他

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者数 1人

7 時枝直樹教育長あいさつ

本日はお忙しい中、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。  
ただ今、新たに委員にお迎えした方に委嘱状を交付させていただいたところ

ですが、本運営委員会は、学校給食の調理や給食費の納付、食育の推進等の各学校給食センターに共通する課題について審議していただき、給食センターを適正かつ円滑に運営するために設置しております。委員の皆様には、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、令和7年度の1学期も大きな事故等なく、子ども達はまもなく夏休みを迎えることとなります。学校運営において先生、保護者の皆様方に日々ご尽力いただいた賜物と感謝申し上げます。

学校では、ご家庭や地域と連携し、望ましい食習慣、生活習慣の確立と運動習慣の形成を推進し、子ども達の健やかな体づくりを進めているところです。

その中で学校給食は健康保持だけでなく、児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、仲間と食べることで協調性や社交性を学ぶ、生きた教材として重要な役割を担っているところです。

令和7年度は、物価高騰に対応すべく、給食費の改定を行ったところです。しかしながら保護者の負担軽減を図るため、児童生徒の給食費については据え置いているところです。現在も物価高騰は続いております。給食センターでは栄養価を維持し、食育を推進するため献立を工夫しながら、安心安全な給食を提供するため、日々大変な努力をしております。

本日の運営委員会では、学校給食センターの運営、食育、給食費の納付状況等についてご説明いたします。限られた時間ではありますが、皆様の様々な角度・視点からの忌憚のないご意見をお願いいたします。

## 8 協議内容

### (1) 一関市学校給食センターの運営について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑等なし。

### (2) 食育の状況について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 「救給カレー」はいつから販売されているものか。

事務局 2013年に東日本大震災の教訓から、全国学校栄養士協議会で開発・発表したものである。

委員 教科としてのティーム・ティーチングの時間が増えている。栄養教諭が遠慮しないよう、教科での指導が必要であれば、そのように言ってもらえる方が良いのではないか。

事務局 ありがたいご意見である。栄養教諭に伝えたい。

### (3) 学校給食費の納付方法及び納付期限等について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑等なし。

(4) 学校給食費の収納状況及び収納対策について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑等なし。

(5) その他

ア 教育次長が給食費について補足を行った。

教育次長

令和7年度に物価高騰などの社会情勢を踏まえ給食費の改定を行ったが、保護者負担額は据え置き、家計の負担軽減を図ってきたところである。

令和8年度の保護者負担額については、国において令和8年度から小学校の給食費無償化を進めていくといった話も出ているが、詳細はわかっていない状態である。当市における令和8年度の保護者負担額について、今後の国の動向を踏まえつつ、現在の据え置きから大きく変更が必要になるような場合には、委員長と相談させていただきながら給食センター運営委員会を臨時的に開催し皆様と協議させていただきたいと考えている。ご承知おきいただきたい。

イ 委員長が各委員に対し意見及び感想を求めた。以下、意見等。

委員 先月給食で「救給カレー」の提供があったが、美味しいものだった。

委員 一関市の給食は、食べるのが楽しみになるメニューであり、工夫して調理いただいていることに感謝する。

委員 各家庭において、みそ汁、副菜を食べない子どもがいるようだ。食べたことがないと食べない子どももいる。その中で、給食では季節感を取り入れたものなどを提供していただいております、子ども達も楽しみながら食べている。

委員 メニューを見ると工夫が楽しい。本日は大阪の郷土料理の給食だった。七夕給食もあった。

県内で一番美味しいと感じている。かぼちゃのポタージュは声が出るほど美味しかった。話題となる給食である。

教室に行けない子ども達も給食に興味を湧いてきており、食育による心の交流が見られている。

委員 給食だよりに行事食の説明があり、子ども達も食を通して学ぶことができている。

委員 自分の子どもは、好き嫌いもなくアレルギーもなく過ごせている。

以前、母親委員で給食センターの見学や試食会を体験した。普段見ることができない現場を見ることができた。また、子ども達が食べた給食と同じ給食を食べることができ良い経験になった。

委員 自分の子どもが、「学校は食べる時間が短くて給食を残した。」と話していた。食事の時間が不足しているようなので、時間を長くとってほしい。

委員 物価高騰で給食が寂しいとの報道があったが、一関は違う。工夫を凝らしていてありがたい。自分の子どもは食が細いが、おかわりしていると聞いている。

委員 3人の子どもがおおり、それぞれ好き嫌いがあるが、給食は友達と楽しく食べているようだ。工夫のおかげである。

委員 中学校の給食時間が短いようだ。教育委員会で対応をお願いしたい。自分の子どもは食が細いため、バランスの良いものを提供してもらってありがたい。家庭ではこの金額で作ることができない。

委員 市内の全ての学校給食センターの点検を行っている。古く長く使っているところもある。ハード面でカバーできなところを人的にカバーしている。

委員 60+（ロクマルプラス）プロジェクトの取組で令和6年度に千厩小学校と室根小学校が表彰された。県南地域は肥満の児童生徒の割合が県の平均を超えている。痩身も若干増えている。家庭で朝食をとらない児童は全体の4%、生徒は6%となっている。

委員 市内の農産物を給食センターに購入してもらっているが、生産者と直接交流する機会が少ないと感じている。季節に応じた食材を給食でもっと使ってもらい、子ども達に産業としての農業に興味を持ってもらえるようにしたい。

委員 食べることの手伝いをしていきたい。給食に関わったことがなく、「救給カレー」を初めて見た。

委員長 ヒヤリハットが心配である。アレルギーの児童や生徒が食べた事案はあったか。

事務局 残念ながら事案はあったが、特に異常はみられなかった。

委員 近年アレルギーが多くなっているように感じる。白米しか食べられない子どもがいる。残食も多いと感じている。

異物混入でパンの提供がなかったこともあり、他人事ではないと

感じた。注意していきたいところである。

事務局 学校、児童生徒、保護者の皆様のご意見が励みになる。今後も安全安心な給食の提供に努めたい。

事務局 安全安心な給食の提供に尽きるものである。

事務局 細心の注意を払って安全で安心な給食の提供に努めている。施設や周辺環境整備等も行っている。お気づきの点があれば、お知らせいただきたい。

事務局 楽しく、美味しく食べてもらいたい。学校、ご家庭から情報共有をお願いしたい。

事務局 食育指導を紹介いただき、感謝する。栄養教諭と調理員が工夫しながら新メニューに取り組んでおり、今年度は「メロンパン風」のパンを提供した。

事務局 栄養教諭の工夫により、給食を提供しているが、物価高騰の影響もあり、思いを込めたメニューを全て作ることができていない。安定した食材の提供しかできないため、バラエティに富んだ給食の提供ができない状況である。

9 担当課 教育委員会事務局学校教育課